

日本語は話者の視点をどの程度表現する言語か

松本曜（国立国語研究所）・古賀裕章（慶應義塾大学）

1. プロジェクトの目的

「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法：動詞意味構造班」では、移動動詞に関するプロジェクトを進めている（MEDAL: Motion Event Descriptions across Languages）。これは、移動事象をどのように言語化するのかについて、20の言語を統一的な実験によって調査し、世界の諸言語の共通性と差異を明らかにすること、さらに、その中で日本語がどのように位置づけられるかを考察することを目的とする。3つの発話実験を行い、様々な課題に関する回答を得ようとしている（Matsumoto to appear）。

2. 本発表での課題

日本語は、話者の視点をよく表現する言語だとされる。通言語的に見て、それは正しいか。A実験の結果から考察する。

3. ビデオ産出実験

- 20の言語について同一のビデオを刺激としてデータを収集
- 主体移動、使役移動、視覚移動の3種類を調査

主体移動：人が移動する；様態X経路X直示の組み合わせで調査

- ▶ 様態：Walk, Run, Skip
- ▶ 経路：To, Into, Up
- ▶ 直示：Twd S, Awy frm S, Neutral（S＝話し手）

使役移動：本、ボール、椅子、人を移動させる

- ▶ 使役手段：Move by hand, Kick, Carry, Call
- ▶ 経路：Into (加えて、KickのみTo, Up)
- ▶ 直示：Twd S, Awy frm S, Neutral（S＝話し手）

視覚移動：建物の中を覗き込む

- ▶ 経路：Into
- ▶ 直示：Twd S, Awy frm S, Neutral（S＝話し手）



Walk / To / Neutral



Run / Into / Awy frm S



Skip / Up / Twd S



MovebyHand / Into / Neutral



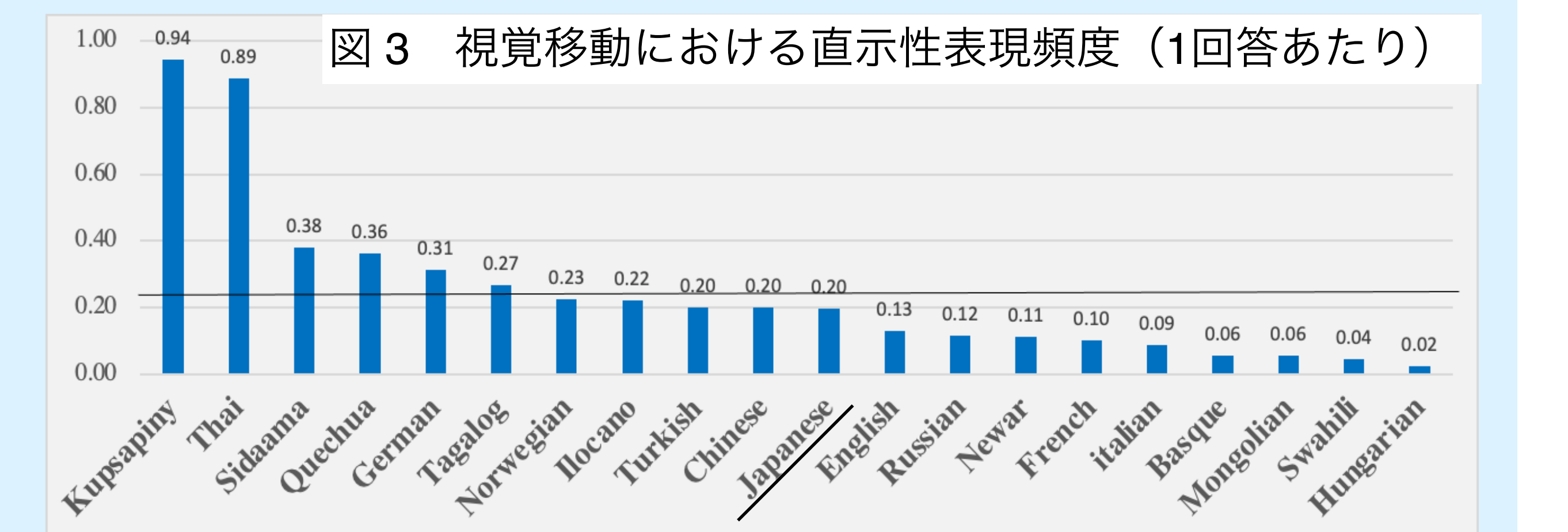
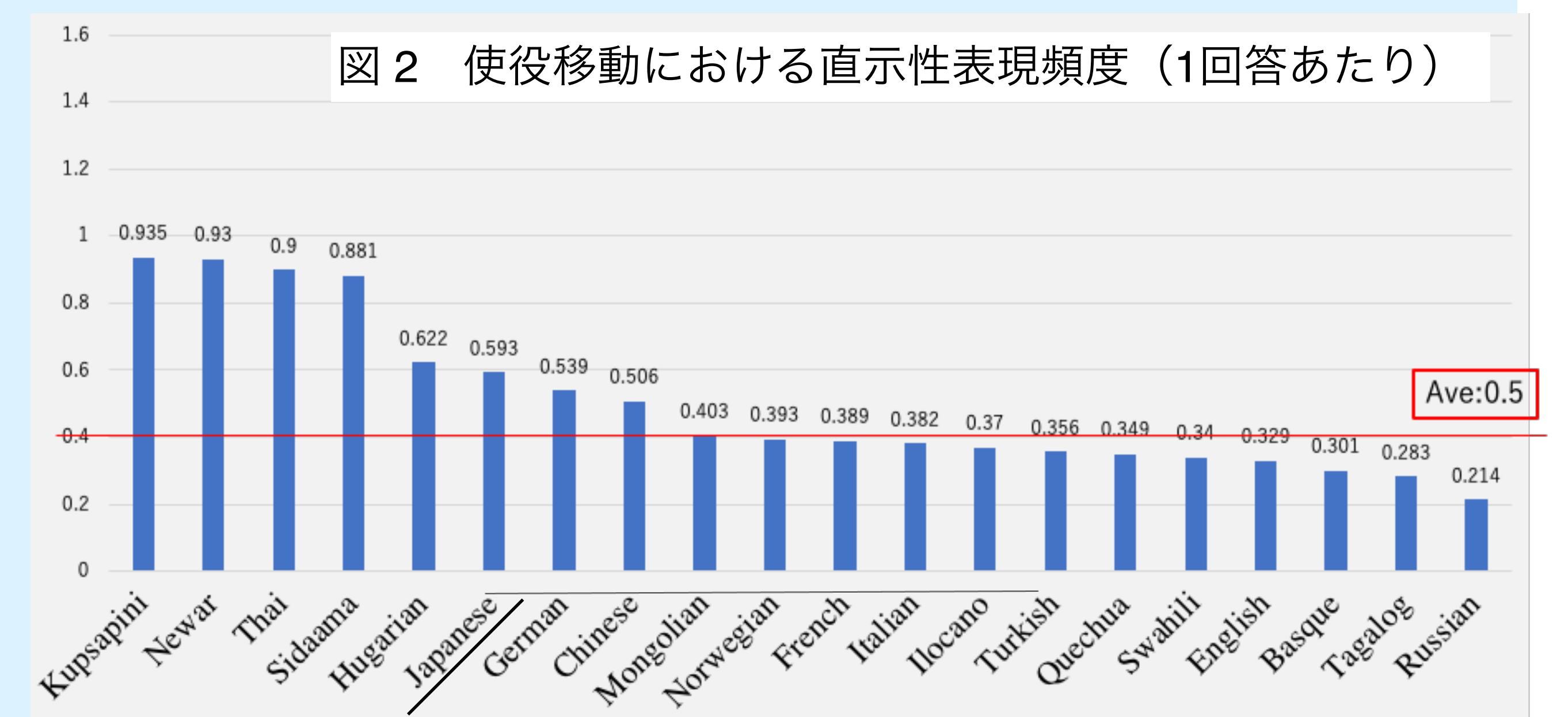
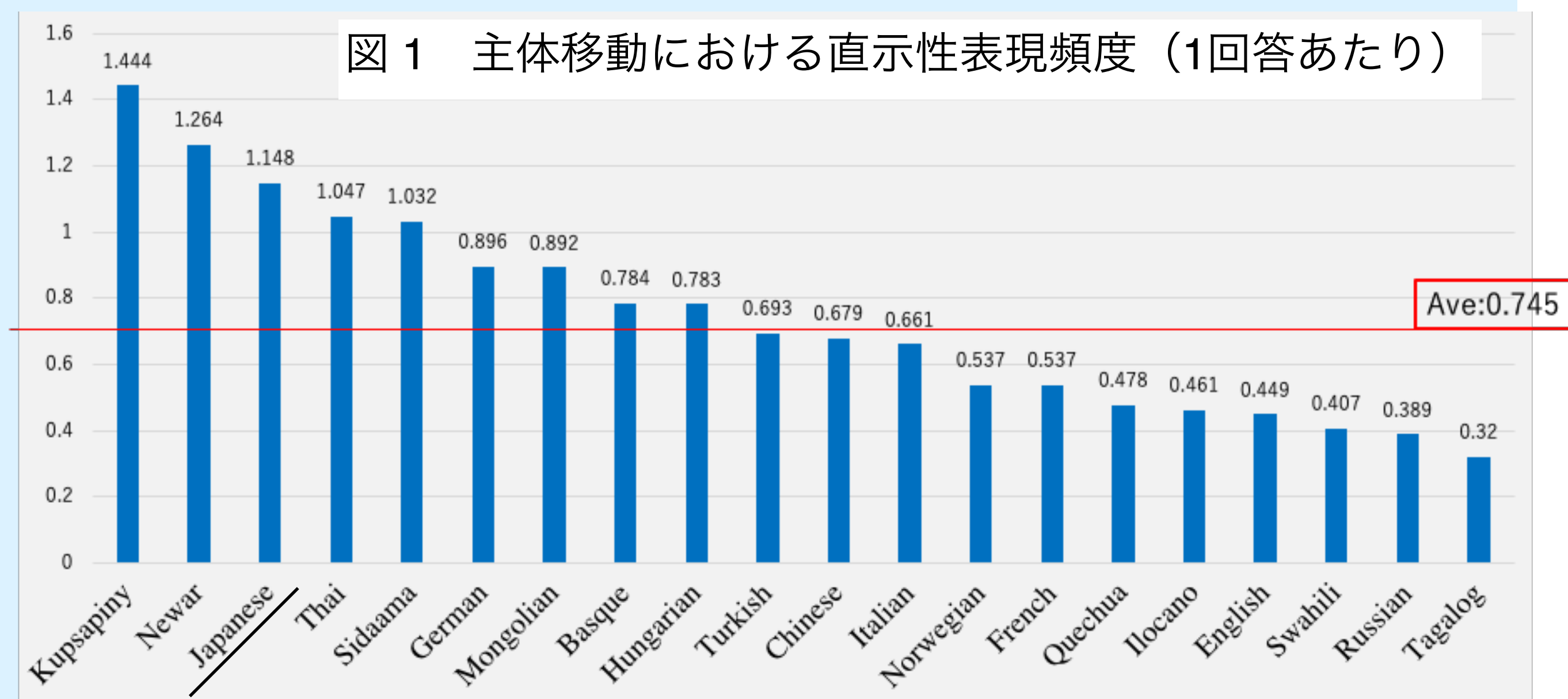
Kick / Into / Twd S



Look / Into / AwyFrm S

4. 結果

3種類のイベントの描写において各言語話者が一回答あたりいくつの直示表現を用いたのかを、図1-3に示す(Koga to appear a)。



日本語における直示表現の例は以下の通り（Koga to appear a）。

- (1) 友達が階段を駆け上がっていった。
- (2) 友達がこっちにボールを蹴った。
- (3) こちらを覗いてきた。

5. 考察

日本語は、直示表現を多用する言語ではあるが、日本語よりも多用する言語は存在する。ネワール語（チベット・ビルマ諸語）、クプサピニ語（ナイル諸語）、タイ語（タイ・カダイ語族）である。（このほか、別の実験の結果から、韓国語において日本語よりも直示性の表現頻度が高いことが分かっている。）これらの言語に共通しているのは、直示性を表現する統語形態的な位置において、ダイクシスが他の要素のとの競合なしに使われる点である。ネワールではほぼ常に直示動詞が主動詞として使われる。また、クプサピニ語では、主動詞として直示動詞が使われるのみならず、動詞に直示接辞のスロットがある。タイ語では動詞連鎖の中で直示動詞が使われ、その位置は固定されている。日本語においても直示動詞が最終動詞として使われることが多いが（例文1）、Neutralのシーンにおいてはそれが使われないケースがある（「駆け上がった」など）。

また、日本語は、使役移動や視覚移動において直示性の表現が少なくなる傾向がある（特に話者方向以外）。直示動詞の「行く」「来る」は主体移動の表現では多用されるが、使役移動、視覚移動では逆行態用法の「くる」のみが可能で（例文(3)）、話者方向以外ではそのような手段がない。これに対して、ネワール語では、使役直示動詞が広範囲に使われるため、使役移動でも直示性を頻繁に表現できる（例文(4)(Matsuse to appear)。タイ語では、使役移動や視覚移動の描写においても動詞連続の中で直示動詞を使うことができ（例文(5)；(Takahashi to appear)、クプサピニ語では直示接辞を使役移動動詞や視覚動詞に付けることが出来る(Kawachi to appear)。

- (4) *wā:* *baɪ sataɪ-e* *du-ne* *thwān-ā* *chwa-la.*
3sg.erg ball rest.house-loc in-loc kick-cm go.caus-nfd
'He kicked a ball into the rest-house.'
- (5) *pūan* *mooŋ* *khāw* *maa* *thaŋ* *chān*
friend look enter come toward 1Sg
'(My) friend looked in toward me.'

6. 結論

日本語は、話者の視点をよく表現する言語ではあるが、直示表現の出現頻度という観点からすると、日本語よりも頻繁に話者の視点を表現する言語は存在する。日本語だけが特に話者の視点をよく表現する言語だというわけではない。

また、日本語が直示表現を多用するかどうかは、表現される事象の性質にもよる。日本語で直示動詞を使うことができる事象は限定的であり、すべての事象の描写において直示性が頻繁に表現されるわけではない。

池上 嘉彦 2003. 「言語における<主観性>と<主観性>の言語的指標(1)」 『認知言語学論考』 1-49.
Kawachi, Kazuhiro. to appear. Factors in the use of the andative deictic verb and verb suffix in Kupsapiny. In Yo Matsumoto (to appear)
Koga, Hiroaki. to appear a. Motion event descriptions in Japanese. In Yo Matsumoto (to appear)
Koga, Hiroaki. to appear b. Deixis in the linguistic representation of motion events across languages. In Yo Matsumoto (to appear).
Matsumoto, Yo (ed.) *Motion Event Descriptions from a Crosslinguistic Perspective*. Berlin: De Gruyter Mouton.
Matsuse, Ikuko. to appear. Motion event descriptions in Kathmandu Newar: deixis prominence and functional properties of *waye* 'come' verb. In Matsumoto (to appear).
Takahashi, Kiyoko. to appear. Motion event descriptions in Thai. In Yo Matsumoto (to appear).